

平成三十年九月二日 西日本豪雨清浄の儀

神 示

こたびの自然災害 時代が大きく変わる流れの中で起きたこと

神が示す「真理」に 悟りを得て生活するなら

人は必ず神の手の中 「心」^{運命実体}大きく守られ 環境変化に泣くことなし

世界の姿は 変化を遂げて安定する

今はまだ 調和に向かう流れの中に 人はいる

よって 家族で「教え」を学び 「教え」を心の支えに 正しい関わりを深める時

「教え」は真理ゆえに

人間の实体を大きく正し 自然の力に守られ 災難に苦しみ 悩むことはない

信者に申す

運命の力を重ねて「生きる」姿に 眞実「真理」を見るべし

反駁する姿は ますます実体を下げ 災いを呼び込むと悟るべし

神の手の中 信者の心は守られて 「夢」かなう人生へと導かれてゆく

神 示

皆に申す

安心されよ

案ずることは何もない

今こそ「教え」を学び 我が心を見詰め 生き方を正す時

人は 経験を通し 「正道」を知る

こたびの災難 「教え」を学ぶ皆にとつて 「人生の眞実」を 気付き 悟る良き機会と申す

お身内 縁者を 亡くされた方に申す

心は 悲しく つらかり

今こそ「教え」を学び 送った家族に 安心してもらえるように 生き方を正す

人の魂は 今生に生き また生まれくる次の時を待つもの

送る者は 「教え」に生きて 故人の心に安心感を届けることが必要

努力し 築いた財産を 流された皆々に申し上げる

眞の「仕合せ」 豊かさは 家族 縁者の支えを頂き 共に「生きる」今にあると気付くべし

人は 一人では生きられない

多くの出会い 支えを頂く今に感謝――

次は我が感謝の思いを返す時と 悟って生きる時

不安に迷う皆の思いを受け止め 「正道」を神が示す

ゆえに 今この時に 心中 思いの全てを祈願されよ

神 示

清めを受けて 皆の心は穏やか 気付き 悟りを深めて 「心」流れてゆく

これから歩む我が人生 「教え」を学び 思いを神に預けて日々歩む

そこに 皆の心は 大きく守られ 神の手の中 悩み 苦しみ 迷う思いは消えてゆく